

# オハイオ州立大学の公衆衛生を中心とした

## 国立保健医療科学院での研修

OHIO State University Study Abroad Program for Global Public Health:Japan

(実施期間:2016年5月24日)

### 1. 本研修の概要

日本の公衆衛生を中心に、環境（公害問題、東日本大震災）、社会学、文化の現状を見学・講義を通じて研修を行う（短期留学プログラム）。

国立保健医療科学院での研修の位置付け（日本の公衆衛生対策を研修）

国立保健医療科学院で研究する研究者から直接、講義を受けることで、自国との公衆衛生対策の違いを学び新たな視点を持つことを目的とした。

#### 講義内容

1. 日本の公衆衛生における保健医療科学院の役割
2. 東京電力福島第一原子力発電所の事故等由来の放射性元素や放射線の現状
3. たばこ対策とたばこ煙中有害成分の測定法など

### 2. 実施方法

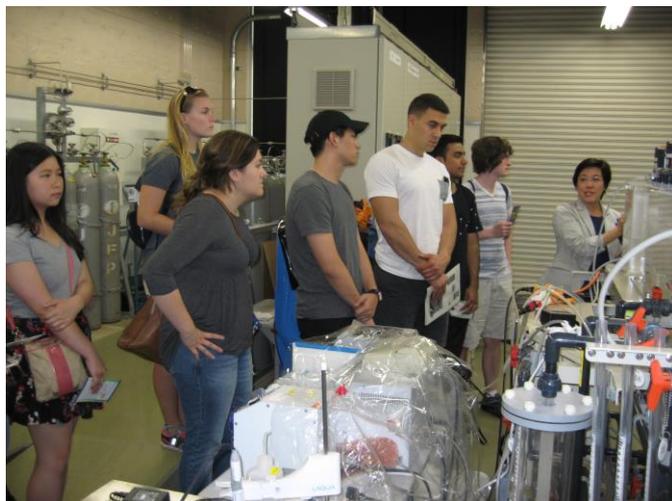
オハイオ州立大学の公衆衛生を中心とした国立保健医療科学院での研修は、日本の公衆衛生について、さらに東京電力福島第一原子力発電所の事故等由来の放射性元素や放射線の現状について講義を実施した。次に、当院の水道システム、放射線分析、日本のたばこ製品の現状とたばこ成分の測定法について施設見学を行いながら説明を行った。



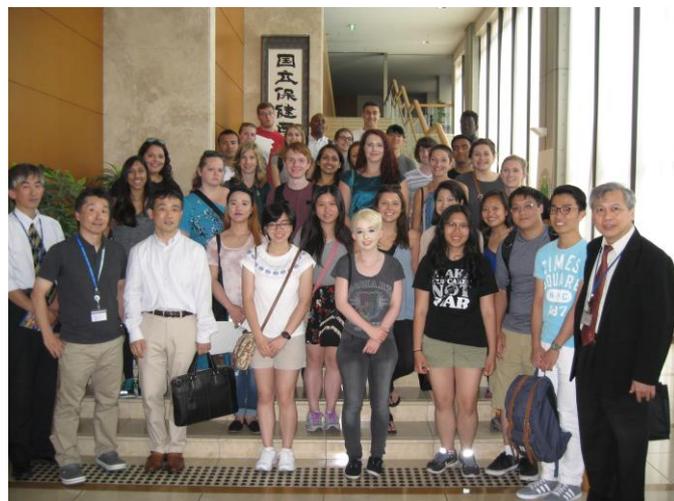
【講義風景 本院：語学研修室】

### 3. 参加者

本年度は、オハイオ州立大学から17名の研修員を得て、本研修を行った。研修員は、公衆衛生を専攻する2から4年生を中心に幅広い分野の学部生であった。



【施設見学 本院：浄水プラント・給水装置試験室】



【集合写真 本院：玄関ロビー】